

施策評価調書(23年度実績)

施策コード I-5-(1)

政策体系	施策名	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	45
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、農林水産部、土木建築部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	自然や生物多様性の保護・保全と適正利用の推進	快適な地域環境の保全と創造	温泉資源の保護と適正利用の推進	ジオパーク整備の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	特に保護が必要な希少野生動植物の指定数(種)	①	—	16	18	112.5%	17	20						
ii	大分県自然公園指導員の委嘱数(人)	①	H16 56	64	68	106.3%	64	70						
iii	1人あたりの都市公園等面積(m ²)	②	H16 10.8	12 (H22)	12.7 (H22)	105.8%	12.8	13						
iv	中山間地域の集落活動(集落協定締結面積割合)(%)	②	H16 75	81	81.6	100.7%	83	85						
V	漁場再生面積(ha)	②	—	15,663	15,418	98.4%	16,409	19,000						
VI	温泉監視のためのモニタリングを行う源泉数(箇所)	③	H16 9	12	12	100.0%	13	16						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i	達成	平成23年度、指定希少野生動植物にハッチョウトンボ(昆虫類)を新たに指定した。		達成
ii	達成	大分県自然公園指導員の委嘱数は平成23年度に13名を新たに委嘱し、目標値を達成した。		
iii	達成	都市におけるオープンスペースは着実に増加しており、目標値を達成した。なお、平成23年度の実績は平成24年10月頃に確定するため、目標値及び実績値は平成22年度の数値を記載している。		
iv	達成	集落営農組織の育成や共同利用機械・施設の導入が進み、農産加工や都市と農村との交流等多彩な取組が行われ、目標値を達成した。		
V	概ね達成	県営事業は終了。市町村営及び民営事業については、ほぼ計画通りに進んでいる。		
VI	達成	平成22年度と同数のモニタリングを行い、目標値を達成した。		

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・自然環境や野生動植物の調査研究を行っている「自然環境研究発表会」や「大分県自然観察連絡協議会」等に参加し、情報収集・ネットワーク構築を支援するとともに、生物多様性おいた県戦略の普及啓発を行った。
②	・県下各地で行われている森林ボランティアによる森づくり活動の広まりによって、県民総参加の森づくり運動が推進された。
③	・温泉法に基づく掘削や動力装置の設置許可について、適正に処分を行った(許可件数86件)。また、温泉利用許可を得た施設において、温泉の成分・禁忌症等の掲示義務の啓発に努めた。
④	・県庁ホームページに大分県の地質遺産を紹介するページを開設したほか、各地でジオパーク構想勉強会や現地研修を行った。また、ジオシンポジウム等を3回開催し、目標450名を超える590名が参加し、おいたジオパーク構想に対する理解と機運醸成が図られた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト(千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 おいた生物多様性保全事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	-	27,921
②	1 離島漁業再生支援交付金事業	現状維持	112	28,012
	2 農地・水・環境保全向上対策事業	見直し(24年度)事業内容の変更	113	182,081
	3 都市政策推進費	見直し(24年度)効率化の推進	184	23,932
④	1 ジオパーク構想推進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	63	39,755

【Ⅵ. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、野生動植物に関する調査研究機能の充実・強化 ・希少野生動植物の無断採取等の事案発生防止及び自然保護意識の啓発 ・農地や水路の維持・保全活動に対する県民の理解と参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉資源の保護に対する県民意識の醸成 ・泉源所有者の共同利用への理解 ・ジオパーク認定に向けた、地元ガイドの養成及び多様な宿泊受け入れ体制の整備 ・姫島村・豊後大野市以外の地域におけるジオパークについての機運醸成

【Ⅶ. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○おいた姫島ジオパーク推進協議会設立総会(H24.3) ・姫島にこんなにもいいものがあると分かった。これから地域のために活かしていきたい。 ○おいた豊後大野ジオパーク推進協議会設立総会(H24.5) ・これまでの見方と違ういい取組と思う。市民全員で取り組む事が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「図鑑のいきもの、いっぱい」開催記念講演会(H24.6) ・生き物たちの形や色のすばらしさに感心し、生物多様性の意味が理解できた。 ・原画は本物よりリアルに感じさせられ、生き物たちのつながりが理解できた。 ・子供たちにも是非観てもらい、生き物や命の大切さを感じてもらいたい。
--	---

【Ⅷ. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の重要性を県内に浸透させながら、絶滅危惧種の保護、外来生物対策など生物多様性を保全する取組や、豊かな自然環境を将来に継承できる取組を着実に実施していく。 ・温泉資源の効果的な保護のための泉源調査を実施しながら、温泉法に基づく規制や指導を徹底する。 ・ジオパークの実現に向け、地質遺産の調査研究を行いながら、教育学習活動や観光、ツーリズムなどに有効に活用する取組を支援し、地域活性化を図っていく。